

## 「統合物理探査調査研究委員会」委員公募

物理探査学会では、以下の研究委員会に参加できる方を募集していますので、ふるってご応募いただくよう案内いたします。

委員会名称： 統合物理探査調査研究委員会

委員長： 三木 茂（基礎地盤コンサルタンツ株式会社）

### 目的と委員会概要：

物理探査学会では、今まで、「新版物理探査の手引き－土木物理探査適用マニュアル」などを出版し、物理探査手法の標準化と普及に寄与してきた。最近では、土木研究所との共同研究成果を「河川堤防安全性評価のための統合物理探査適用の手引き」（愛智出版刊）にまとめた。ここで、「統合物理探査」には、探査対象に対して、①複数の探査手法を組み合わせて信頼性の向上を図ること、複数の物性値で評価を行うこと、②単に探査を実施するだけでなく地質調査プロジェクト全体の中で地盤の解釈と評価に探査結果を活かしていこうという2つの意味が込められている。

物理探査学会では、手法としての検討、標準化に努めてきたが、探査結果による地盤解釈と評価の視点が弱かったと言える。物理探査の有用性をアピールするためには、適切な物理探査の実施と適切な地盤評価、プロジェクト全体における物理探査の有効性を評価する方法の研究が不可欠である。

他学会では、物理探査技術の利用、地盤評価に視点を置いた研究委員会を企画実施している。また、その中では、物理探査学会の多くのメンバーが中心的な役割をはたしてきた。地盤分野における物理探査技術の普及、発展には、探査技術の向上に加えて、利用技術、地盤評価を含めた研究、検討が不可欠であり、物理探査学会が主導的に進める必要がある。

地盤分野において、物理探査技術の適切な適用および計画、実施、適切な探査結果の評価、地盤の評価が実施されることによりプロジェクト全体における効果を検討し、物理探査技術が有用な調査技術として利用拡大されることを目的とする。

本委員会では、以下の調査、研究を計画している。

- ・ 物理探査実施事例の検討（成功例、失敗例）
- ・ 物理探査利用実績、利用者ニーズの調査
- ・ 物理探査を実施することによるプロジェクトへの効果の評価方法の検討
- ・ 複数の探査手法による地盤評価法の検討（河川統合探査の他分野への適用検討）
- ・ 物理探査を実施することによるプロジェクトへの効果の評価方法の検討

活動は、基本として委員会参加者のボランティアで実施する。物理探査研究者、技術者だけでなく、広く地質調査および設計施工技術者からの意見、提案、評価を取り入れられる場としたい。

**活動期間：** 平成 26 年 1 月中旬（予定） ～ 平成 28 年 3 月 31 日（3 年間）

**活動内容：**

- ・頻度： 委員会開催，年間 4～5 回
- ・場所： 物理探査学会会議室
- ・その他： 必要に応じて現場検討会を実施

**その他：**

本研究委員会は，参加委員のボランティアとして実施します。

委員会参加費は必要としませんが，交通費や日当等の支給はありません。

**公募人数：** 10 名程度

**応募締切日：** 平成 25 年 12 月 15 日まで

**応募方法：**

本委員会に参加を希望される方は，(1)氏名，(2)所属，(3)連絡先，(4)特に興味があるテーマや行ってみたい研究内容などを 300 文字程度で記入して，下記宛に E-mail でお送り下さい。メールタイトルは，「統合物理探査調査研究委員会応募」としてください。

送付頂いた内容を基に人数や分野のバランスを考慮して委員を選任させていただきます。場合によってはご参加いただけないこともありますので，あらかじめご了承ください。

**連絡先：**

公益社団法人物理探査学会 事務局長 渡辺 文雄

TEL 03-6804-7500 FAX 03-5829-8050

E-mail: office@segj.org

三木 茂

基礎地盤コンサルタンツ株式会社 保全・防災センター物理探査部

〒136-8577 東京都江東区亀戸 1-5-7 日鐵 ND タワー12 階

TEL: 03-6861-8873 FAX: 03-6861-8896

E-mail: miki.shigeru@kiso.co.jp